

5. 成果の論文発表・口頭発表等

(1) 東日本大震災教訓活用研究

(a) 成果の論文発表・口頭発表等

著者	題名	発表先	発表年月日
Shosuke Sato, Fumihiko Imamura	An Attempt of Extraction and Sharing Lessons Learned from Experiences of the 2011 Great East Japan Earthquake Disaster Based on Viewpoints of Experts on Disaster Science: 3.11 Lessons Learned Web Database System	Journal of Disaster Research, Vol. 11, No. 5, pp. 881-888	2016年10月
平川雄太, 佐藤翔輔, 白幡勝美, 今村文彦	津波碑と津波浸水域の位置・対応関係と人的被害に関する考察－岩手県沿岸の事例－	土木学会論文集 B2 (海岸工学), Vol. 72, I_1621-I_1626	2016年10月
戸川直希, 佐藤翔輔, 今村文彦, 平間雄	津波避難訓練を繰り返すことによる効果の検証－宮城県亘理町の事例－	土木学会論文集 B2 (海岸工学), Vol. 72, I_1585-I_1590	2016年10月
Furumura, T.	Destructive near-fault strong ground motion from the 2016 Kumamoto Prefecture, Japan, M7.3 earthquake	Landslides, 13:1519-1524	2016年
姥浦道生	土地利用から見た岩手・宮城の復興	日本建築学会	2016年8月
蝦名裕一, 佐藤翔輔	和歌山県印南町における歴史津波史料を活用した防災活動	津波工学研究, No. 33, pp. 105-108	2017年1月

(b) 特許出願、ソフトウェア開発、仕様・標準等の策定

○公開等

「動画でふりかえる 3.11－東日本大震災公開動画ファインダー－」,

<http://311movie.irides.tohoku.ac.jp/> ※2017年2月10日公開

「3.11からの学びデータベース－IRIDeSから発信する東日本大震災の教訓空間－」,

<http://311manabi.irides.tohoku.ac.jp/> ※2017年1月30日 コンテンツ追加

「震災教訓文献データベース－論文・報告書がしめす震災教訓の検索システム－」,

<http://edbunken.irides.tohoku.ac.jp/> ※2017年1月30日 コンテンツ追加

(2) 地震・津波被害予測研究

(a) 成果の論文発表・口頭発表等

著者	題名	発表先	発表年月日
谷口純一, 馬場俊孝, 三好學, 安芸浩資	徳島市を対象とした、津波による流入水の堤外排水のシミュレーション	日本地球惑星科学連合 2016 年大会, SSS33-04	2016 年 5 月
Baba, T., J. Taniguchi, M. Miyoshi, K. Aki	Long-term flooding simulation due to the great Nankai tsunami in Tokushima-city, Japan	AOGS 2016, OS22-SE37-D4-PM 2-P-005	2016 年 8 月
Taniguchi, J., T. Baba, M. Miyoshi, H. Aki	A Numerical Simulation of Drainage of Influent Water Caused by Tsunami at Kawauchi, Tokushima	Tecno-ocean 2016, Kobe, 3F2	2016 年 10 月
谷口純一, 馬場俊孝, 三好學, 安芸浩資	徳島市を対象とした津波による流入水の堤外排水シミュレーション	土木学会論文集 B2(海岸工学), 72, p. I_1525-I_1530	2016 年 11 月
馬場俊孝	南海トラフ巨大津波襲来後の徳島市における長期湛水の予測	徳島県土木研究発表会	2016 年 12 月
今井健太郎	直線海岸を有する沿岸地域における木造建物の津波被害関数の特徴	日本地震工学会 第 12 回年次大会	2016 年 9 月
平井敬, 福和伸夫	大阪堆積盆地上の長周期地震動の震源位置による変動	日本建築学会 2016 年度大会(九州) 学術講演梗概集 構造 II, 1151-1152	2016 年 8 月
山田沙代, 平井敬, 福和伸夫	有限差分法に基づく中京地域で観測される地震動の震源位置依存性に関する研究	日本建築学会 2016 年度大会(九州) 学術講演梗概集 構造 II, 1153-1154	2016 年 8 月
Nobuo Fukuwa, Takashi Hirai, Jun Tobita, Kazumi Kurata	Dynamic Response of Tall Buildings on Sedimentary Basin to Long-Period Seismic Ground Motion	Journal of Disaster Research, Vol. 11, pp. 857-869	2016 年 8 月
山田沙代, 平井敬, 福和伸夫	地震動観測記録と有限差分解析に基づく中京地域で観測される長周期地震動の震源位置依存性に関する研究	日本建築学会構造系論文集, Vol. 81, pp. 1647-1656	2016 年 10 月

Takashi Hirai, Nobuo Fukuwa	Green' s function database and detailed ground motion prediction for central Japan based on the reciprocity theorem	16th World Conference on Earthquake Engineering, No. 221	2017年1月
村尾英彦, 野田 利弘, 中井健太 郎, 吉川高広, 堀田繁	1G 場振動台実験による盛土造成斜 面の地震時変状メカニズムに関す る考察	第 51 回地盤工学 研究発表会講演 概要集, 1859-1860	2016 年
堀田繁, 中井健 太郎, 野田利 弘, 吉川高広, 村尾英彦	共振現象に着目した飽和盛土造成 斜面の 1G 場振動台模型実験	平成 28 年度土木 学会中部支部研 究発表会, 283-284	2017 年
村尾英彦, 野田 利弘, 中井健太 郎, 吉川高広, 堀田繁	固有振動数と入力振動数に着目し た飽和盛土造成斜面の 1G 場振動台 実験	第 52 回地盤工学 研究発表会講演 概要集	2017 年
倉田和己、福和 伸夫	仮想現実ソフトウェアと震動体感 環境の融合による効果的な減災啓 発ツールの開発	災害情報, No. 14、pp. 83-96	2016 年 6 月
高橋広人、福和 伸夫、岸浦正樹	表層地盤モデルに基づく 1944 年東 南海地震による名古屋市の住家被 害と地盤特性に関する研究	日本地震工学会 論文集, 第 16 卷、 第 9 号、pp. 46-66	2016 年 8 月
F. Zhou, H. Liu, M. Mori, N. Fukuwa and H. Zhu	Seismic response of a continuous foundation structure supported on partially improved foundation soil	Soil Dynamics and Earthquake Engineering, Vol. 90, pp. 128-137	2016 年 11 月
成澤健太、福和 伸夫、飛田潤	実在免震建物を利用した振動実験 環境の構築	構造工学論文集, Vol. 63B	2017 月 3 月
Ogut OC, Mori M. and Fukuwa N.	Effect Of Rocking Foundation Input Motion On The Nonlinear Response Characteristics Of Superstructure	16th World Conference of Earthquake Engineering	2017 年 1 月
H. Takahashi and N. Fukuwa	Three-Dimensional Surface Layer Model For Strong Motion And Liquefaction Prediction	16th World Conference of Earthquake Engineering	2017 年 1 月
都築充雄・浦谷	平成 28 年(2016 年)熊本地震による	名古屋大学減災	2016 年 6 月

浩明	電力の被害と復旧	連携研究センター平成 28 年(2016 年)熊本地震速報(6 月 30 日)報告書, pp. 41-44	30 日
都築充雄	平成 28 年(2016 年)熊本地震による電力の被害と復旧	東海圏減災研究コンソーシアム被害予測専門部会・減災技術開発専門部会第 11 回合同委員会報告	2016 年 7 月 21 日
都築充雄	南海トラフ巨大地震と電力供給	南海トラフ広域地震防災研究プロジェクト第 8 回東海地域研究会	2017 年 1 月 24 日
平田明寿・岩坪智史・北野哲司・野中俊宏	大規模地震時における水道施設の被害予測と減災対策効果に関する一考察	平成 28 年度全国会議(水道研究発表会)講演集、pp864-865.	2016 年
平田明寿・北野哲司・野中俊宏	水供給システムの地震被害予測手法と減災対策の比較分析	第 7 回インフラ・ライフライン減災対策シンポジウム講演集、pp232-237	2016 年
中村洋光・藤原広行・佐伯琢磨・河合伸一・森川信之・清水智・小丸安史・若浦雅嗣・時実良典・早川讓	南海トラフを対象とした確率論的津波リスクの試算ー南海トラフで発生する地震・津波リスクの変遷ー	日本地震工学会・大会ー2016, P2-6	2016 年 9 月 26 日
佐伯琢磨・藤原広行・中村洋光・森川信之・清水智・小丸安史・若浦雅嗣・時実良典・早川讓	南海トラフにおける確率論的地震リスク評価に基づく災害シナリオの試作	日本地震工学会・大会ー2016, P2-7	2016 年 9 月 26 日
山崎雅人・曾根	南海トラフ巨大地震による製油所	土木計画学研	2016 年

好徳・小池淳司	被災の経済被害推計：地域間応用一般均衡モデルによる分析	究・D3 論文集 72(5), I_111-I_121.	
山崎雅人・曾根好徳・小池淳司	207 生活圏間応用一般均衡モデルによる巨大地震の経済被害評価	第 30 回応用地域学会	2016 年

(b) 特許出願、ソフトウェア開発、仕様・標準等の策定
なし

(3) 防災・減災対策研究

(a) 成果の論文発表・口頭発表等
なし

(b) 特許出願、ソフトウェア開発、仕様・標準等の策定
なし

(4) 災害対応・復旧復興研究

(a) 成果の論文発表・口頭発表等

著者	題名	発表先	発表年月日
金玟淑, 佐藤克志, 牧紀男, 平田隆行, 稲地秀介, 岸川英樹, 田中秀宜	「地域の営み」の継続に着目した事前復興計画策定手法の構築-和歌山県由良町衣奈での住民参加型ワークショップを通して-	地域安全学会 論文 No. 30	2017 年 1 月 21 日
村山顕人	三重県地震・津波被害の低減に向けた都市計画指針について	三重県市町都市計画担当者研修会 (アスト津・アストホール)	2016 年 8 月 22 日
村山顕人	地震・津波被害の低減に向けた土地利用・施設配置計画	第 59 回 エネルギー・環境講習会 (AP 西新宿 4 階 ROOM4-K& 4-I)	2017 年 2 月 22 日
加藤孝明	「未経験の復興状況を前提とした「復興準備」、復興イメージトレーニングの必要性と意義」	新都市, 都市計画協会, pp9-15	2016 年 11 月
加藤孝明	次の災害復興に事前に備える, プランナーズ,	NPO 都市計画家協会	2016 年 10 月

(b) 特許出願、ソフトウェア開発、仕様・標準等の策定
なし

(5) 防災・災害情報発信研究

(a) 成果の論文発表・口頭発表等

著者	題名	発表先	発表年月日
水井良暢、田口仁、臼田裕一郎、藤原広行	南海トラフ災害情報プラットフォームの構築とその構造の検討	日本地震工学会	2016年9月
宇田川真之・三船恒裕・磯打千雅子・黄欣悦・定池祐季・田中淳	平常時の避難行動意図の規定要因について	災害情報	2017年1月号

(b) 特許出願、ソフトウェア開発、仕様・標準等の策定
なし

(6) プレート・断層構造研究

(a) 成果の論文発表・口頭発表等

著者	題名	発表先	発表年月日
Arai, R., Takahashi, T., Kodaira, S., Kaiho, Y., Nakanishi, A., Fujie, G., Nakamura, Y., Yamamoto, Y., Ishihara, Y., Miura, S., Kaneda, Y.	Structure of the tsunamigenic plate boundary and low-frequency earthquakes in the southern Ryukyu Trench	Nature Communications	2016年7月22日
Arai, R., Kodaira, S., Takahashi, T., Kaiho, Y., Miura, S., Kaneda, Y.	Crustal structure of the southern Okinawa Trough: Symmetrical rifting, submarine volcano, and potential mantle accretion in the continental back-arc basin	Journal of Geophysical Research: Solid Earth	2016年12月26日

Arai, R., T. Takahashi, S. Kodaira, Y. Kaiho, S. Miura, Y. Kaneda	Continental rift structure in the Okinawa Trough back-arc basin	SEISMIX 2016	2016年5月 17日
Arai, R., T. Takahashi, S. Kodaira, S. Miura, Y. Kaneda, A. Nishizawa, M. Oikawa	Structure and seismic behaviour along the weakly-coupled Nansei-Shoto subduction zone from active- and passive-source seismic investigations	SEISMIX 2016	2016年5月 19日
山本 揚二郎・高 橋 努・石原 靖・ 海宝 由佳・新井 隆太・仲西 理 子・尾鼻 浩一 郎・三浦 誠一・ 小平 秀一・金田 義行	海底地震観測データにより推定し た琉球海溝南部のプレート境界形 状	日本地球惑星科 学連合 2016 年大 会	2016年5月 22日
Nakanishi, A., Yamamoto, Y., Yamashita, M., Fujie, G., Miura, S., Kodaira, S., Kaneda, Y.	Structural variation of the incoming Philippine Sea plate along the Nankai Trough off Shikoku	日本地球惑星科 学連合 2016 年大 会	2016年5月 23日
Arai, R., T. Takahashi, S. Kodaira, S. Miura, Y. Kaneda, A. Nishizawa, M. Oikawa	Variation of the subduction structure along the Nansei-Shoto trench	日本地球惑星科 学連合 2016 年大 会	2016年5月 24日
山下 幹也・仲西 理子・中村 恭 之・三浦 誠一・ 小平 秀一・金田 義行	南海トラフに沿って沈み込むフィ リピン海プレートの浅部構造変化 とその特徴	日本地球惑星科 学連合 2016 年大 会	2016年5月 25日

Arai, R., T. Takahashi, S. Kodaira, Y. Kaiho, S. Miura, Y. Kaneda	Seismic structure of continental rift and off-axis volcanism in the Okinawa trough back-arc basin	日本地球惑星科学連合 2016 年大会	2016 年 5 月 26 日
新井隆太	南西諸島海溝における地震発生帯モデルと沖縄トラフの背弧リフト構造-海域地震観測による最新の成果-	平成 28 年度第一回南海トラフ～南西諸島海溝の地震・津波に関する研究会	2016 年 9 月 5 日
新井隆太・高橋努・小平秀一・海宝由佳・三浦誠一・金田義行	反射法データによる沖縄トラフの断層発達と海底火山の内部構造	日本地質学会第 123 年学術大会	2016 年 9 月 10 日
山下幹也・仲西理子・三浦誠一・小平秀一・金田義行	高精度イメージングから得られた南海トラフ軸周辺の変形構造	シンポジウム「南海トラフ巨大地震の予測に向けた観測と研究」	2016 年 9 月 30 日
仲西理子・山下幹也・山本揚二郎・藤江剛・三浦誠一・小平秀一・金田義行	四国沖フィリピン海プレートの構造不均質	日本地震学会 2016 年度秋季大会	2016 年 10 月 6 日
Arai, R., S. Kodaira, Y. Kaiho, T. Takahashi, S. Miura, Y. Kaneda	Seismic Structure of the Southern Okinawa Trough: Evidence of Symmetrical Rifting and Back-arc Volcanism	American Geophysical Union 2016 Fall Meeting	2016 年 12 月 12 日
Yamashita, M., Nakanishi, A., Moore, G. F., Kodaira, S., Nakamura, Y., Miura, S., Kaneda, Y.	Structural characteristics around the frontal thrust along the Nankai Trough revealed by bathymetric and seismic reflection survey	American Geophysical Union 2016 Fall Meeting	2016 年 12 月 14 日
Nakanishi, A., Yamamoto, Y., Yamashita, M.,	Heterogeneous Structure in the incoming Philippine Sea plate along the southwestern Nankai	American Geophysical Union 2016 Fall	2016 年 12 月 14 日

Fujie, G., Miura, S., Kodaira, S., Kaneda, Y.	Trough	Meeting	
Arai, R.	Fault structure and seismogenic behaviour in the Ryukyu subduction zone revealed by active/passive seismic experiments	IGP Seminar/Vietnam Academy of Science and Technology	2017年2月22日
新井隆太・小平秀一・高橋努・三浦誠一・金田義行・西澤あずさ・及川光弘	南西諸島海溝北部における奄美海台の沈み込み構造	ブルーアース2017	2017年3月2日
高橋努・海宝由佳・石原靖・山本揚二郎・尾鼻浩一郎・三浦誠一・小平秀一・金田義行	南西諸島南部のランダム速度不均質構造	ブルーアース2017	2017年3月2日
汐見勝彦	瀬戸内海東部周辺下におけるフィリピン海プレート形状再検討	日本地震学会2016年度秋季大会	2016年10月6日
Shiomi, K.	Variations of Converted Ps Phase Amplitude Along the Subducting Philippine Sea Slab Beneath Shikoku, Southwest Japan	AGU Fall Meeting 2016	2016年12月14日

(b) 特許出願、ソフトウェア開発、仕様・標準等の策定
なし

(7) 海陸津波履歴研究

(a) 成果の論文発表・口頭発表等

著者	題名	発表先	発表年月日
行谷佑一, 安藤亮輔, 宍倉正展, 野村成宏	地中レーダー探査に基づく1854年安政東海地震で出現した蒲原地震山周辺の断層位置の推定	日本地球惑星科学連合2016年大会(千葉市)	2016年5月26日
行谷佑一, 宍倉正展	富士川西岸における安政東海地震以前の洪水被害	第33回歴史地震研究会(大槌町)	2016年9月12日

谷川晃一朗, 宍倉正展, 藤原 治, 行谷佑一, 松本 弾	高知県東洋町・四万十町・黒潮町の沿岸低地における津波堆積物調査	日本地球惑星科学連合 2016 年大会 (千葉市)	2016 年 5 月 26 日
Ikehara, K., Usami, K., Kanamatsu, T., Arai, K., Yamaguchi, A. and Fukuchi, R.	Spatial variability in sediment lithology and sedimentary processes along the Japan Trench: Use of deep-sea turbidite records to reconstruct past large earthquakes	Geological Society Special Publication	In press
岩井雅夫, 池原 研, 金松敏也, 芦寿一郎, KY13-17 航海乗船研究者, KH15-2 Leg3 乗船研究者	南海トラフ土佐瀬海盆の活断層とタービダイト: KY13-17 航海と KH15-2 Leg3 航海の成果	日本地質学会第 123 年学術大会 (東京都世田谷区)	2016 年 9 月 9 日
池原 研	地震性タービダイトによる地震発生履歴研究の現状と課題	日本地質学会第 123 年学術大会 (東京都世田谷区)	2016 年 9 月 9 日
Ikehara, K., Kanamatsu, T., Usami, K., Ajioka, T., Miyazaki, M. and Hsiung, K.H.	Offshore event deposits at a forearc area of the southern Ryukyu arc	Taiwan Geoscience Assembly General Meeting	2016 年 5 月 17 日
Ikehara, K., Kanamatsu, T., Nagahashi, Y., Strasser, M., Hiske, F., Usami, K., Irino, T. and Wefer, G.	Documenting large earthquakes similar to the 2011 Tohoku-oki earthquake from sediments deposited in the Japan Trench over the past 1500 years	Earth and Planetary Science Letters, 445, 48-56	2016 年 7 月
宇佐見和子, 池原 研, Strasser, M., SO-251A 乗船研究者一同	日本海溝底の重力流堆積物から産出した底生有孔虫群集	日本古生物学会 第 166 回例会 (東京都新宿区)	2017 年 1 月 28 日

池原 研, 金松敏也, 宇佐見和子	南部琉球列島, 八重山前弧の海底谷-海底扇状地系とタービダイトの堆積間隔	日本堆積学会 2017年松本大会 (松本市)	2017年3月 27日
-------------------	--------------------------------------	------------------------------	----------------

(b) 特許出願、ソフトウェア開発、仕様・標準等の策定
なし

(8) 広帯域地震活動研究

(a) 成果の論文発表・口頭発表等

著者	題名	発表先	発表年月日
山下裕亮・篠原雅尚・山田知朗・中東和夫・塩原肇・望月公廣・前田拓人・小原一成	Long-term ocean bottom monitoring of slow earthquakes on the shallow plate interface in the Hyuga-nada region (3)	日本地球惑星科学連合 2016 年大会	2016 年 5 月 22 日
小原一成・高木涼太・山下裕亮・浅野陽一・松澤孝紀・田中佐千子・廣瀬仁・前田拓人	豊後水道周辺域におけるスロー地震の相互作用	日本地球惑星科学連合 2016 年大会, SCG21-05	2016 年 5 月 22 日
山下裕亮・松本聡・中元真美・松島健・宮崎真大・清水洋・飯尾能久・2016年熊本地震合同地震観測グループ	緊急合同余震観測データを用いた高精度震源決定結果から推定される 2016 年熊本地震震源域の断層構造 (序報)	日本地球惑星科学連合 2016 年大会, MIS34-P19	2016 年 5 月 25 日
Yusuke Yamashita, Masanao Shinohara, Tomoaki Yamada, Kazuo Nakahigashi, Hajime Shiobara, Kimihiro Mochizuki, Takuto Maeda, Kazushige Obara	LONG-TERM OCEAN BOTTOM MONITORING OF SLOW EARTHQUAKES ON THE SHALLOW PLATE INTERFACE IN HYUGA-NADA, WESTERN PART OF THE NANKAI TROUGH	9th Biennial Workshop on Japan-Kamchatka-Alaska Subduction Processes	2016 年 6 月 1 日

山下裕亮・八木原寛・平野舟一郎・小林励司・宮町宏樹・中尾茂・後藤和彦・馬越孝道・内田和也・松島健・清水洋・中東和夫・山田知朗・篠原雅尚	南西諸島北部の海溝軸付近で発生する浅部低周波微動について	日本地震学会 2016年度秋季大会, S09-P07	2016年10月5日
---	------------------------------	-------------------------------	------------

(b) 特許出願、ソフトウェア開発、仕様・標準等の策定
なし

(9) データ活用予測研究

(a) 成果の論文発表・口頭発表等

著者	題名	発表先	発表年月日
Uchida, N., S. Kirby, N. Umino, R. Hino, and T. Kazakami	The great 1933 Sanriku-oki earthquake: reappraisal of the mainshock and its aftershocks and implications for its tsunami using regional tsunami and seismic data	Geophys. J. Int., 206, 1619-1633, 2016	2016年7月27日
Uchida, N., Y. Asano, and A. Hasegawa	Acceleration of regional plate subduction beneath Kanto Japan, after the 2011 Tohoku-oki earthquake	Geophys. Res. Lett., doi:10.1002/2016GL070298, 2016	2016年8月26日
Hatakeyama, N., N. Uchida, T. Matsuzawa, T. Okada, J. Nakajima, T. Matsushima, T. Kono, S. Hirahara, and T. Nakayama	Variation in high-frequency wave radiation from small repeating earthquakes as revealed by cross-spectral analysis	Geophys. J. Int., 207(2), 1030-1048, doi: 10.1093/gji/ggw313, 2016	2016年8月22日
Hirata, Y., and Y. Ohta	Spatial and temporal characteristics of optimum process noise values of	Earth, Planets Space, 68:203, doi:	2016年12月8日

	tropospheric parameters for kinematic analysis of Global Navigation Satellite System (GNSS) sites in Japan	10.1186/s40623-016-0578-y, 2016	
Meneses-Gutiérrez, A. and T. Sagiya	Persistent inelastic deformation in central Japan revealed by GPS observation before and after the Tohoku-oki earthquake	Earth Planet. Sci. Lett., 450, 366-371	2016年9月
鷺谷威	測地データにもとづく地震予測の可能性と課題	科学, 86(9), 942-944	2016年9月
鷺谷威	南海トラフ地震 — その実像と予測に関する諸問題 —	学会会報, 921, 91-96	2016年11月
鷺谷威	1944年東南海地震発生時の掛川異常隆起は本当か?	地震ジャーナル, 62, 13-25	2016年12月
鷺谷威・A. Meneses-Gutiérrez	Implications of Persistent Intraplate Deformation in the Niigata-Kobe Tectonic Zone, Central Japan	日本地球惑星科学連合2016年大会, SCG63-20	2016年5月23日
鷺谷威・A. Meneses-Gutiérrez	東北日本における弾性ひずみ収支	日本地震学会2016年秋季大会, S03-07	2016年10月6日
大間俊樹・伊藤武男	1944年及び1946年の南海トラフ地震の余効変動から推定した粘弾性構造	日本地震学会2016年秋季大会, S03-P11	2016年10月6日
Takeo Ito, Muneyoshi Furumoto, Kenjiro Matsuhiro, Takashi Okuda, Takeshi Sagiya, Shinichiro Horikawa, and Kazuya Ito	Time evolution of vertical displacement during Holocene: case of kikai Island, Ryukyu Islands, Japan	American Geophysical Union 2016 Fall meeting, T23A-2882	2016年12月13日
Sagiya, T., and A. Meneses-Gutiérrez	Elastic Strain Budget and Inelastic Deformation in Northeast Japan	American Geophysical Union 2016 Fall Meeting, G32A-02	2016年12月14日

鷺谷威	地震予知と災害情報～地震学は南海トラフ地震の災害軽減に貢献できるか?～	日本地震学会・ 日本災害情報学会共同勉強会 「南海トラフ沿いの巨大地震の発生予測と社会的課題」	2017年1月 28日
Nakata, R., T. Hori, M. Hyodo, and K. Ariyoshi	Possible scenarios for occurrence of M [~] 7 interplate earthquakes prior to and following the 2011 Tohoku-Oki earthquake based on numerical simulation	Scientific Reports, vol.6, 25704, doi:10.1038/sr ep25704	2016年5月 10日
中田令子・兵藤守・堀高峰	日本海溝地域における地震発生予測の試み—2011年東北地方太平洋沖地震前後で検証—	日本地震学会 2016年秋季大会, S14-P01	2016年10月 7日
Nakata, R., M. Hyodo, and T. Hori	Numerical test of a forecasting procedure for plate boundary earthquakes: a case study of the 2011 Tohoku-Oki Earthquake along the Japan Trench	American Geophysical Union 2016 Fall meeting, S21A-2682	2016年12月 13日
Okuda, R., K. Hirahara, S. Miyazaki, M. Kano and M. Ohtani	Numerical experiments on estimation of frictional parameters on the SSE fault through Ensemble Kalman Filter	日本地球惑星科学連合2016年大会, SCG21-24	2016年5月 22日
坂上啓・福田淳一・加藤照之・西村卓也	GPSデータに基づく2013年以降の東海地方スロースリップイベントの時空間発展の推定	日本測地学会第126回講演会, 57	2016年10月 20日
Nishimura, T.	Interplate coupling strain partitioning and block motions deduced from GNSS and GPS/A data in southwest Japan	American Geophysical Union Fall Meeting 2016, T31E-2950	2016年12月 14日
Sakaue, H., J. Fukuda, T. Kato, and T. Nishimura	The slow slip event in the Tokai region, central Japan, since 2013 as seen from GPS data	American Geophysical Union Fall Meeting 2016, S33A-2814	2016年12月 14日

- (b) 特許出願、ソフトウェア開発、仕様・標準等の策定
なし

(10) 震源モデル構築・シナリオ研究

(a) 成果の論文発表・口頭発表等

著者	題名	発表先	発表年月日
R. Agata, T. Ichimura, K. Hirahara, M. Hyodo, T. Hori, M. Hori	Robust and portable capacity computing method for many finite element analyses of a high-fidelity crustal structure model aimed for coseismic slip estimation	Computers & Geosciences, 94, 121-130	2016年4月
T. Ichimura, R. Agata, T. Hori, K. Hirahara, C. Hashimoto, M. Hori, Y. Fukahata	An Elastic/Viscoelastic Finite Element Analysis Method for Crustal Deformation using a 3D Island-scale High-fidelity Model	Geophysical Journal International, 206(1), 114-129	2016年4月
Harada T, K. Satake, and T. Furumura	Re-examination of the original questionnaire documents for the 1944 Tonankai, 1945 Mikawa, and 1946 Nanaki earthquakes	EGU2016-6798	2016年4月
縣亮一郎, 市村強, 堀高峰, 平原和朗, 橋本千尋, 堀宗朗	高詳細な地殻変動解析手法を用いた断層変位量・アセノスフェア粘性率同時推定手法の検討	土木学会応用力学シンポジウム	2016年5月
平原和朗	固着すべり振動子の周期外力への応答(2)	日本地球惑星科学連合2016年大会 S-SS27-18	2016年5月
原田智也・西山昭仁・佐竹健治・古村孝志	明応七年六月十一月(ユリウス暦1498年6月30日)の大地震に関する『九州軍記』の被害記述の検討～1498年明応日向灘地震は存在したか?～	地球惑星科学連合2016年連合大会 SSS31-12	2016年5月
Xu, S., E. Fukuyama, H. Yue and J. P. Ampuero	Simple crack models explain deformation induced by subduction zone megathrust earthquake	Bulletin of Seismological Society of America, vol.	2016年7月 (online 掲載)

		106 no. 5 pp. 2275-2289, doi:10.1785/0120 160079	
R. Agata, T. Ichimura, T. Hori, K. Hirahara, C. Hashimoto, M. Hori	Simultaneous estimation method of viscosity and dislocation in a viscoelastic material using high-fidelity model aimed for application to subduction zone earthquake	12th World Congress on Computational Mechanics, Korea	2016年7月
Iwata, T., Kubo, H., Asano, K., Sato, K. and Aoi, S.	Long-period Ground Motion Characteristics and Simulations in the Osaka Basin during the 2011 Great Tohoku Earthquake	Proceedings of the 5th International Symposium on the Effect of Surface Geology on Seismic Motion, I101A	2016年8月
縣亮一郎, 市村 強, 堀高峰, 平原 和朗, 橋本千尋, 堀宗朗	粘弾性変形の大規模有限要素解析 を用いた地殻構造最適化手法の開 発	日本応用数理学 会年会	2016年9月
原田智也・佐竹健 治・古村孝志・室 谷智子	地震直後に行われたアンケート調 査による1948年福井地震(M7.1) の震度分布	第33回歴史地 震研究会 P-4	2016年9月
鳴橋龍太郎・佐竹 健治・原田智也	安政東海地震津波(1854年)におけ る三重県五ヶ所湾地域の被害状況	地震研究所彙報 第91号 第1/2 冊	2016年9月
平原和朗	準動的地震サイクル計算における 数値積分法について	日本地震学会 2016年秋季大会 S08-18	2016年10月
原田智也・佐竹健 治・古村孝志・室 谷智子	地震直後に行われたアンケート調 査の再検討による1948年福井地震 (M7.1)の震度分布	日本地震学会 2016年秋季大会 S10-P06	2016年10月
西山昭仁・原田智 也	明応七年(1498)の畿内における地 震記録の検討	2016年前近代歴 史地震史料研究 会	2016年11月
R. Agata, T.	Adjoint-based Simultaneous	American	2016年12月

Ichimura, T. Hori, K. Hirahara, C. Hashimoto, M. Hori	Estimation Method of Fault Slip and Asthenosphere Viscosity Using Large-Scale Finite Element Simulation of Viscoelastic Deformation	Geophysics Union Fall Meeting, the U.S.	
関口春子	不均質震源モデル	平成 28 年度京 都大学防災研究 所研究発表講演 会	平成 29 年 2 月
原田智也・西山昭 仁・佐竹健治・古 村孝志	明応七年六月十一日（1498 年 6 月 30 日）の日向灘大地震は存在しない －『九州軍記』の被害記述の検討－	地震	平成 29 年 3 月受理

(b) 特許出願、ソフトウェア開発、仕様・標準等の策定
なし